



# 中期経営計画

(2020年10月～2023年9月)

株式会社フィックスターズ

2020/11/13

# 目次



- 01 フィックスターズについて
- 02 中期経営方針
- 03 経営数値目標
- 04 各事業の方向性

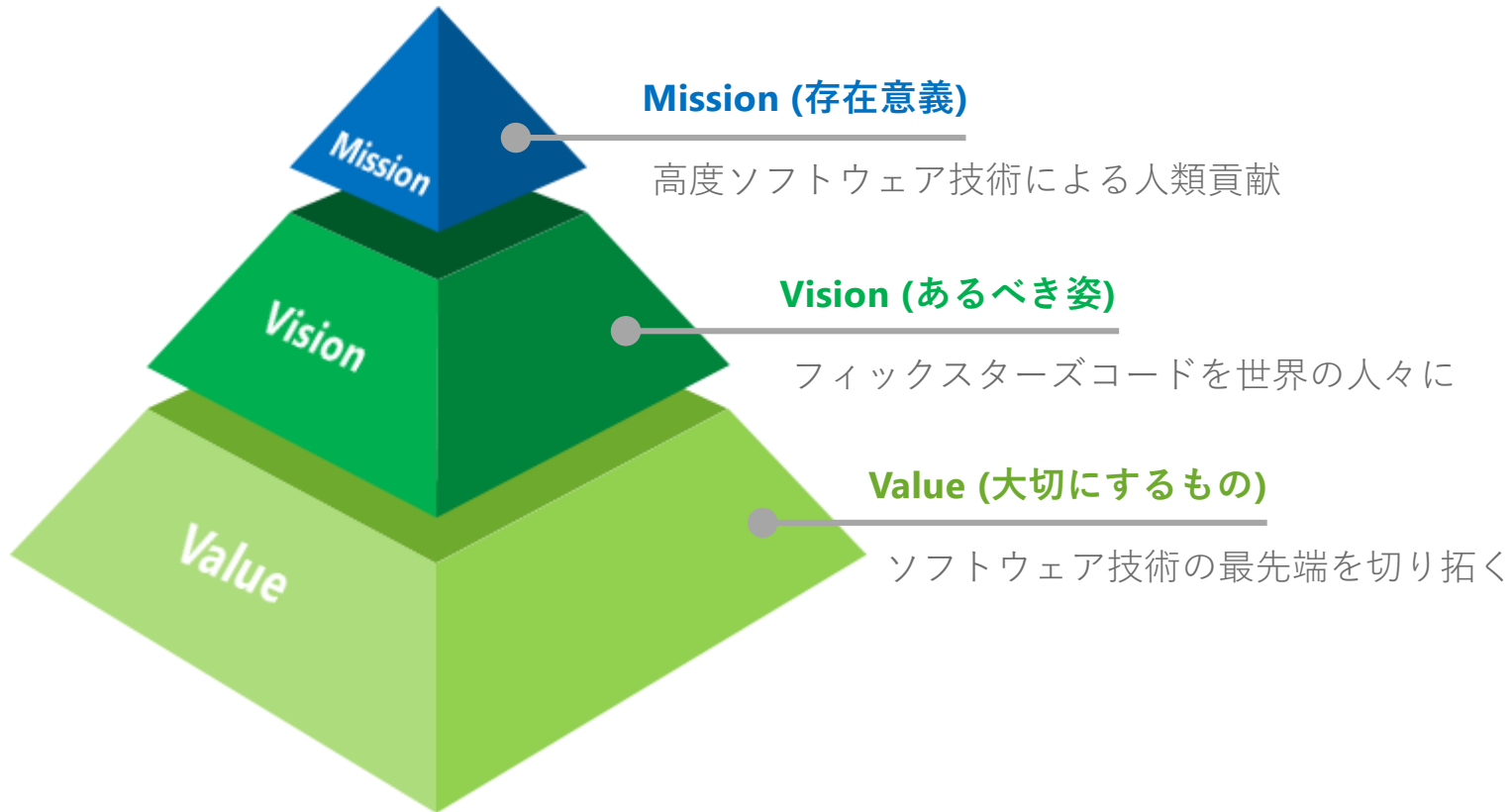
01

# フィックスターズについて

---

About us

# フィックスターズのMVV



# フィックスターズのESGへの取り組み (1)



## 高速化技術による環境負荷低減

当社は、多様な産業分野に対する高速化ソリューションにより電力消費を大幅に抑え、環境負荷低減に貢献しています。

### 多様な産業分野における高速化ソリューション

#### Semiconductor

- ・ NAND型フラッシュメモリ向けファームウェア開発
- ・ 次世代AIチップ向け開発環境基盤の開発

#### Mobility<sup>1</sup>

- ・ 自動運転の高性能化、実用化
- ・ 次世代パーソナルモビリティの研究開発支援

#### Life Science

- ・ ゲノム解析の高速化
- ・ 医用画像処理の高速化

#### Finance

- ・ デリバティブシステムの高速度化
- ・ HFT(アルゴリズムトレード)の高速度化

#### Industrial

- ・ Smart Factory化支援
- ・ マシンビジョンシステムの高速度化

数倍～数百倍の高速度化による  
電力消費時間の短縮



Note: 1) 一例として、自動運転向け画像認識処理の高速化 (1車種)のみでも、2020年に約14,000トンのCO2削減が見込まれる (当社推計)

# フィックスターズのESGへの取り組み (2)




## 高速化に限らない様々な社会貢献

高速化ソリューションによる消費電力削減に加え、自動運転や医療等の様々な分野への支援により、環境や社会の課題解決に貢献しています。

当社事業領域

社会的価値




自動運転の高性能化、実用化  
次世代パーソナルモビリティの研究開発支援

交通事故の根絶  
交通弱者へのサポート



AIによる画像診断支援

より気軽でより質の高い  
診断・治療へのアクセス



量子・アニーリングによる人員配置の最適化

働きがい向上  
働き方改革への貢献

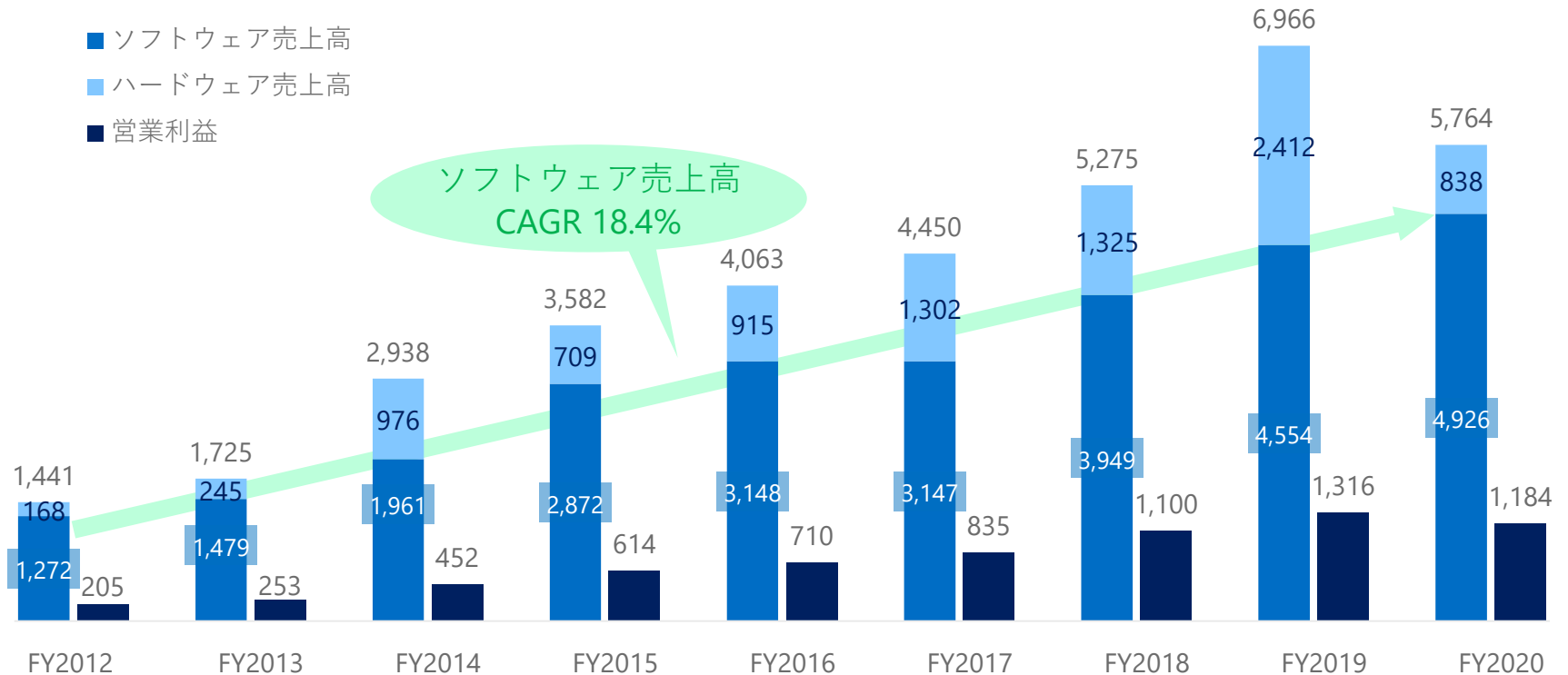
# フィックスターズの経営状況



## 安定した経営基盤

当社は、ソフトウェア開発・高速化ソリューション、及び関連するハードウェアの提供を通じて成長してきました。  
2020年度は主にハードウェア事業のスポット案件の急減による減収がありつつも、  
ソフトウェア事業としては安定成長を堅持しています。

### 連結業績推移



02

# 中期経営方針

Medium-term business plan



中期経営方針

# 中期経営方針



## Solution + SaaS の ハイブリッド収益モデルへの転換

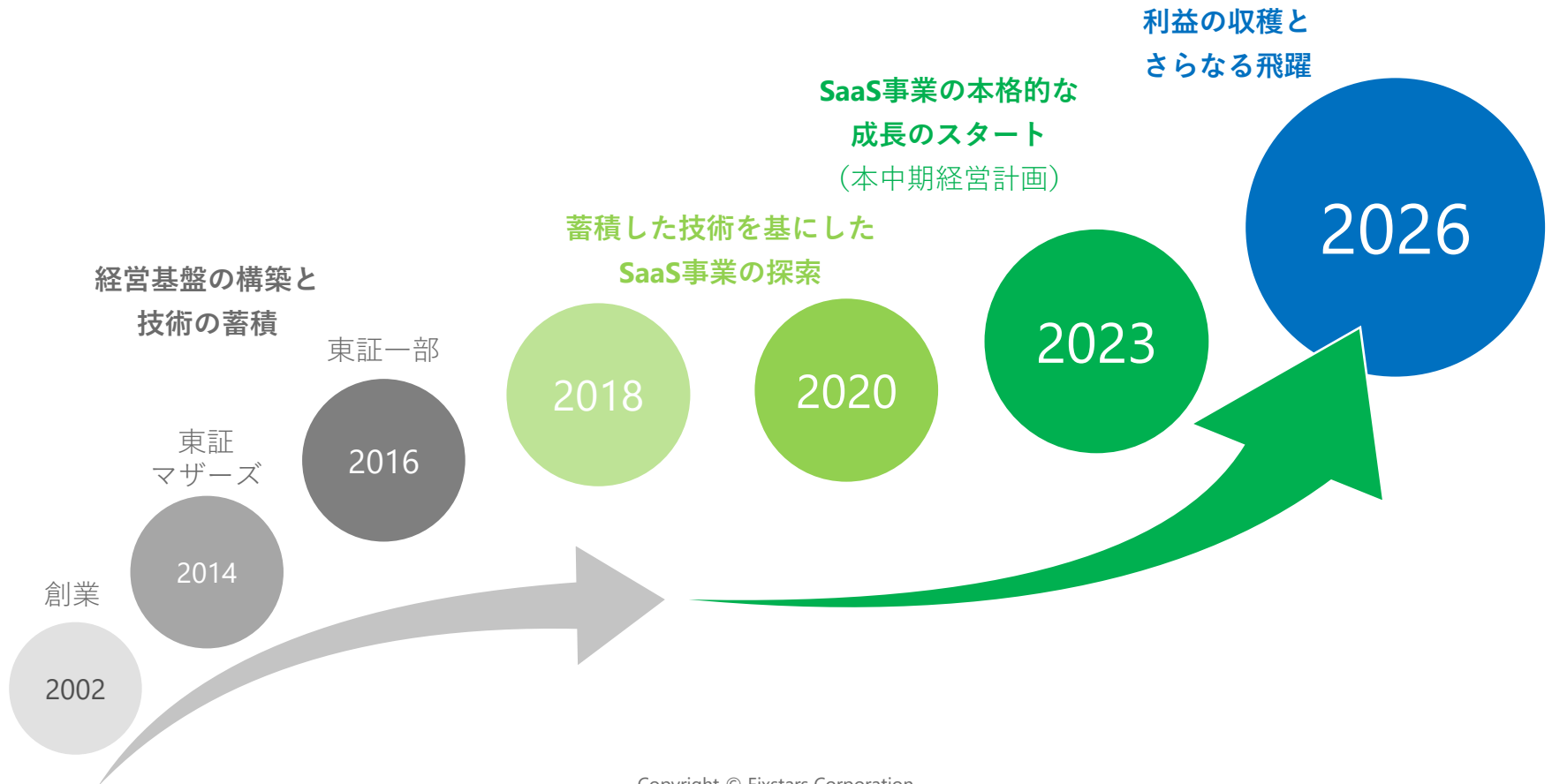
“Solution事業による個々のお客様を通じた社会貢献に加え、  
SaaS事業による、より広い社会全体への貢献を目指す”

# 中期経営計画の位置づけ



## SaaS事業の本格的な成長のスタート

当社は、強みである高速化技術を用いて、安定的な経営基盤の構築や技術の蓄積、SaaS事業の探索を行ってきました。本中期経営計画では、蓄積した技術や探索の成果をベースとしたSaaS事業の本格的な成長を目指します。



# フィックスターズの戦略コンセプト



## SolutionとSaaSのハイブリッド戦略

当社が強みとする技術を領域別のSaaSに展開し、成功の確度を保ち、リスクを低減しつつ成長率の飛躍をねらいます。さらに、SaaSを入り口として受託Solutionの受注にもつなげ、SolutionとSaaSのシナジーを構築していきます。

### Solution事業



### SaaS事業

#### 活用する技術



- 高付加価値・高単価の受託による高速化ソリューションの提供（人月モデル）
- 先端技術の蓄積により、成長領域において他社より先に案件を確保。安定的で着実に成長

ビジネスモデル  
当社の強み

- 高付加価値SaaSのリカーリングでの提供（継続課金モデル）
- 受託で培った技術を用い、初期投資とリスクが低減できる領域で展開。飛躍的成長を目指す

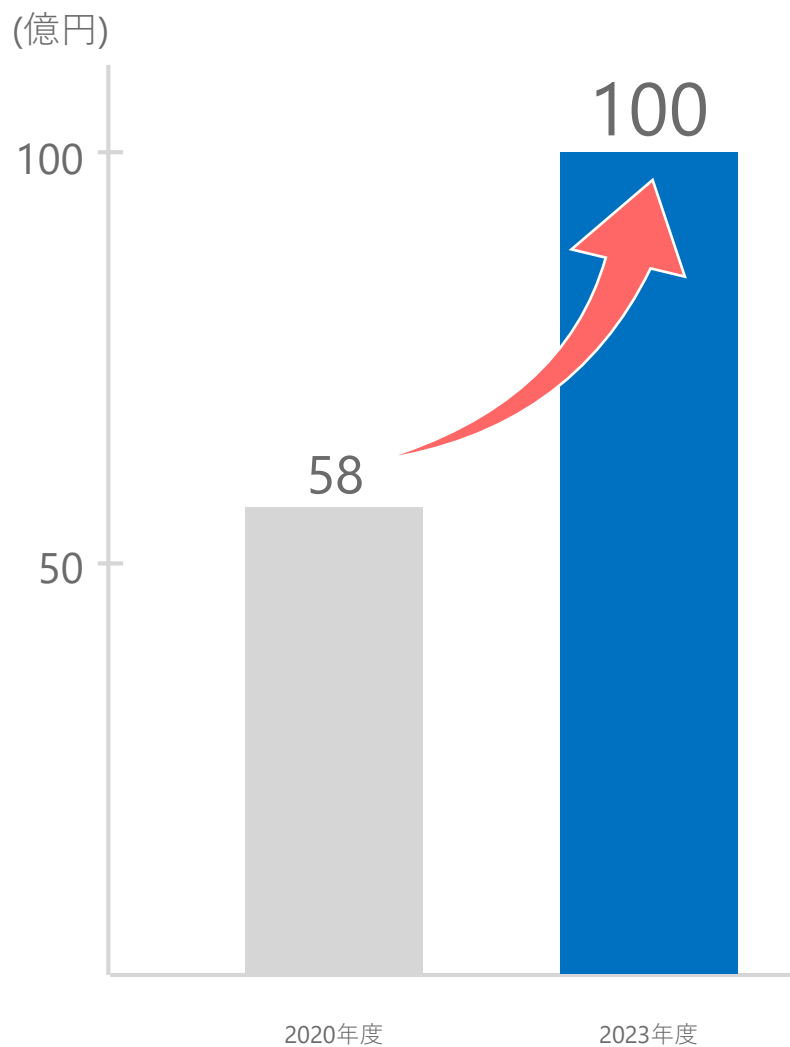
03

# 経営数値目標

Management goal

経営数値目標

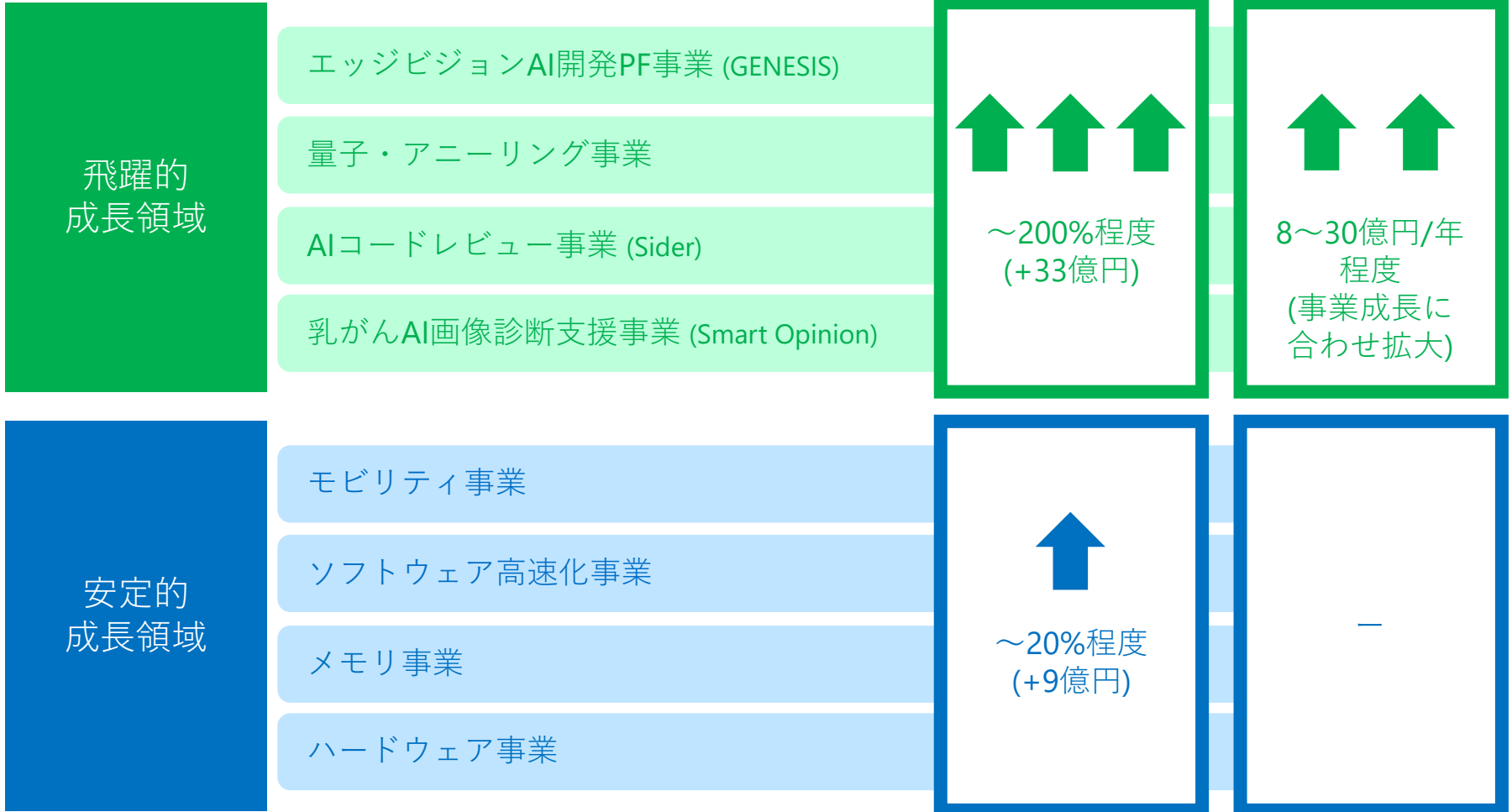
# 経営数値目標



2023年度  
連結売上高

# 100億円

# 各事業の位置づけ



Note: 1) 新規事業投資額は「新規事業を創出するための費用」とする

04

# 各事業の方向性

---

Plan for each business

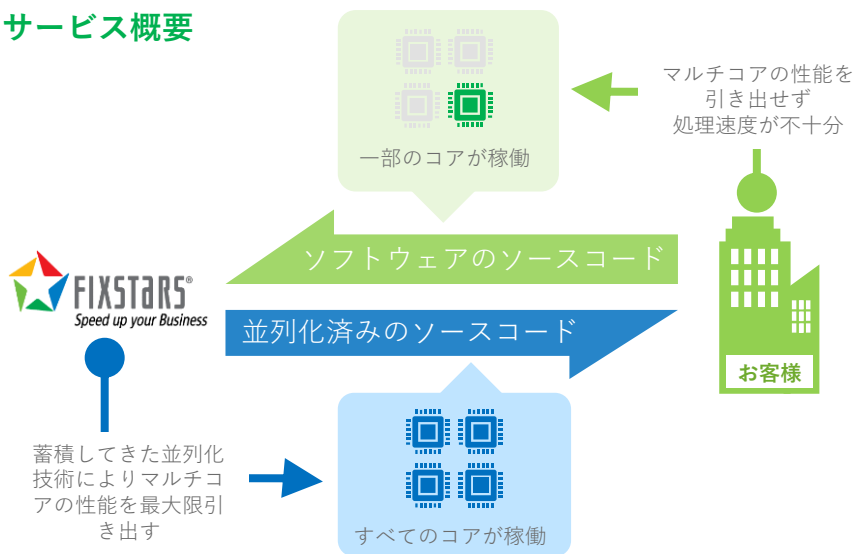
# 安定的成長領域



## 並列化による高速化ソリューション事業

当社事業の根幹をなすソフトウェア開発・ソースコード並列化による高速化ソリューションでは、コンピュータの性能を最大限に引き出すことで大量データの高速処理を実現しています。

### サービス概要



### 事業ポテンシャル



組込みソフトウェア(国内)  
市場規模(2019年)  
**6兆2,980億円<sup>2</sup>**

**うち当社シェア約0.1%**

### 今後の施策

- 優秀なエンジニア確保のためのトップ大学へのブランディング
- 年2~3社の新規優良顧客開拓を行う
- 結果として、年率10~20%の成長を維持

### 当社の蓄積してきた強み「並列化による高速化」

ムーアの法則<sup>1</sup>が限界を迎え、マルチコアの時代にマルチコアの性能を引き出すには複数のコアに処理を分散するコードを記述する必要がある(=並列化)

Note: 1) ゴードン・ムーアが唱えた「半導体の集積率は18か月で2倍になる」という経験則 2) 「製品開発費と組込みソフトウェア開発費の推移」(NEDO技術戦略研究センター作成)を基に当社推計



# 飛躍的成長領域 (1)



## エッジビジョンAI開発プラットフォーム “GENESIS” 事業

自動運転やFA等、様々な分野で利用拡大が見込まれるエッジビジョンAI/IoT向けの開発プラットフォームです。アルゴリズムの構築から各種ハードウェア向け最適化、半導体回路生成まで数クリックでシームレスに行えます。

### サービス概要



### 事業ポテンシャル



ターゲット市場規模 (2025年)  
1兆8,200億円<sup>1</sup>

- Services for Computer Vision  
1兆3,000億円
- Software for Computer Vision  
5,200億円

### 今後の施策

- 簡単にアプリケーションが作成できるようテンプレートを量産し開発者の取込みを推進
- サプライヤ向けにAI開発環境を整備し、ユーザ獲得と顧客サポートのサービスを提供
- 次世代のAIエッジビジョン/IoTのデファクト開発環境プラットフォームに成長

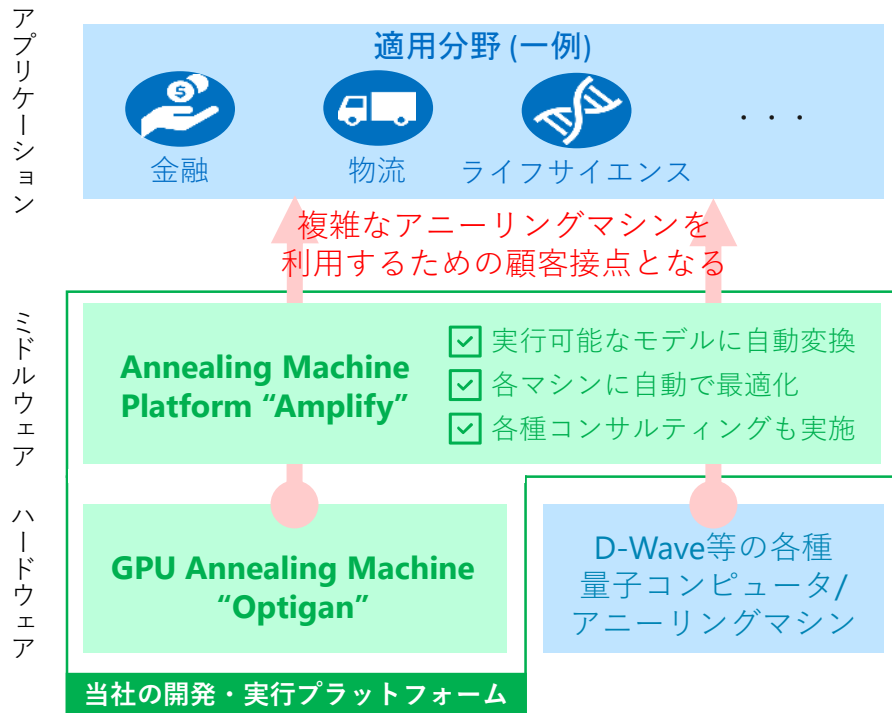
# 飛躍的成長領域 (2)



## 量子・アニーリング事業

世界最大規模の問題を扱えるGPUアニーリングマシン“Optigan”及びミドルウェア“Amplify”により、各種量子コンピュータおよびアニーリングマシンを統一的に活用できるようなプラットフォームを提供します。

### サービス概要



### 事業ポテンシャル



ターゲット市場規模 (2027年)  
4,400億円<sup>1</sup>

● 国内 400億円

● 海外 4,000億円

### 今後の施策

- ✓ 組み合わせ最適化問題に特化した分野でSaaSサービスを立ち上げる
- ✓ 世界最大規模の組み合わせ最適化問題が解ける自社GPUアニーリングマシンの普及に努める
- ✓ アニーリングコンピューティングの開発・実行プラットフォームとしてデファクトスタンダードを目指す

Note: 1) ポストンコンサルティンググループ、CIRの予測を基にした当社による推定値

# 飛躍的成長領域 (3)

## AIコードレビュー“Sider”事業

ソフトウェア開発において、完成したコードを第三者の目でレビューする「コードレビュー」は必要不可欠となりつつあります。本事業では、AIによる自動のコードレビューを提供し、あらゆる開発プロジェクトの品質を劇的に向上させます。

### サービス概要



コードレビューをAIのアシストにより効率化するサービス

具体的には...

コンピュータならではの網羅性で以下を実施



- より品質の高いコードの提案
- 潜在的なバグの発見
- 性能向上の提案

### 事業ポテンシャル



ターゲット市場規模 (2019年)  
1兆5,000億円<sup>1</sup>

- 国内 約500億円<sup>2</sup>
- 海外 約1兆4,500億円

### 今後の施策

- ソースコード分析エンジンをAIを用いてより賢くする
- 無料で手軽に試せるブラウザ駆動版でエンジニアをひきつけ、有償SaaSサービスのユーザ獲得に繋げる
- グローバルにサービスを提供し、世界シェアNo1を目指す

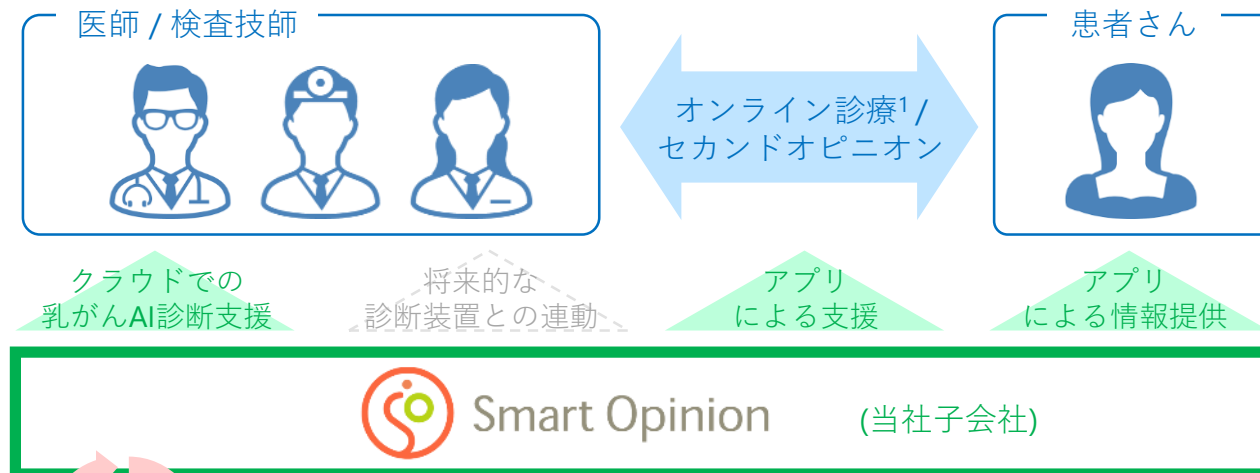
Note: 1) 当社による推定値 2) 世界のコードレビュー市場規模に、世界に占める日本のIT業界市場規模(約3.3%, SourceはGartner)を乗じたもの

# 飛躍的成長領域 (4)

## 乳がんAI画像診断支援事業

乳がんの超音波画像に対し、AIを用いて精密検査の要否を高速かつ高精度に判別し、医師の負担軽減を目指します。  
乳がんの早期発見を支援し、がん発見後も総合的に患者さんをサポートするサービスを提供していきます。

### サービス概要



超音波画像を学習データとした乳がんのAI診断支援システムを共同研究

国内9の病院・医療センター (慶應義塾大学医学部等)

### 今後の施策

- ☑ PMDA認可取得に向けて動いており、早期のサービス開始を図る
- ☑ クラウドでの診断支援サービスで、病院側での初期投資のないサービス提供を図る
- ☑ 超音波診断装置と連動したサービス提供を目指す

Note: 1) コロナ禍における対応として、Smart Opinion社では既にオンライン診療サービスの提供を開始しています。

# 将来予測に関する免責事項



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものです。

当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

